

東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例（仮称）  
制定の趣旨について

【条例制定の趣旨】

- 平成18年、国際連合において、全ての障害者による人権及び基本的自由の完全かつ平等な共有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害者の固有の尊厳を促進することを目的として、障害者の権利に関する条約が採択された。
- その後、我が国は、条約の締結に向けて、障害者基本法の改正、障害者総合支援法及び障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の制定等、国内法の整備を進め、平成26年、障害者の権利に関する条約を締結した。
- しかしながら、今なお、障害及び障害者への誤解や偏見その他の理解不足により、障害者は、日常生活や社会生活の様々な場面において、障害を理由とする不当な差別的取扱いを受け、自立や社会参加が妨げられている。中でも、障害のある女性は、障害を理由とする差別と性に基づく差別という二重の差別を受ける場合がある。これら、障害者が日常生活や社会生活で受ける差別や制限は、心身の機能の障害のみならず、社会における様々な障壁によって作り出されているのであって、障壁を取り除くことは社会全体の責任である。
- 多様性とその包摂が都市としての発展の原動力であるとの認識の下、東京都は、障害及び障害者への都民の理解を深めるとともに、障害を理由とする不当な差別的取扱いをなくし、建設的な対話と合理的配慮の提供を通じた社会的障壁の除去の取組を進めていかなければならない。
- ここに、障害者の権利に関する条約、障害者基本法及び障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の理念のもと、東京に暮らし、東京を訪れる全ての人が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指し、この条例を制定する。